

【重要】TDR(パルス反射式) ケーブル測長機の使い方

●VP値の設定

TDR方式で測長を行う場合、正確な測長結果を得るために各種ケーブルに適応したVP値(パルスの伝搬速度)を設定する必要があります。

※VP値とは光の伝搬速度を100%とした時に測長機から発信するパルスをケーブルにどのくらいの速度で信号が伝搬されるかを数値化したものです。

【VP値の設定方法】

- ①測長を行うケーブルと同種のサンプルケーブルを10~20m程度用意します。
- ②測長機をサンプルケーブルの片側2芯につなぎテスト測長を行います。
- ③実際のサンプルケーブルの長さとの測長結果が同じになる様にVP値を調整します。
- ④以上で求められたVP値が対象ケーブルの正確なVP値となります。以後、同種のケーブルを測長する場合にはこのVP値を入力し測長を行ってください。

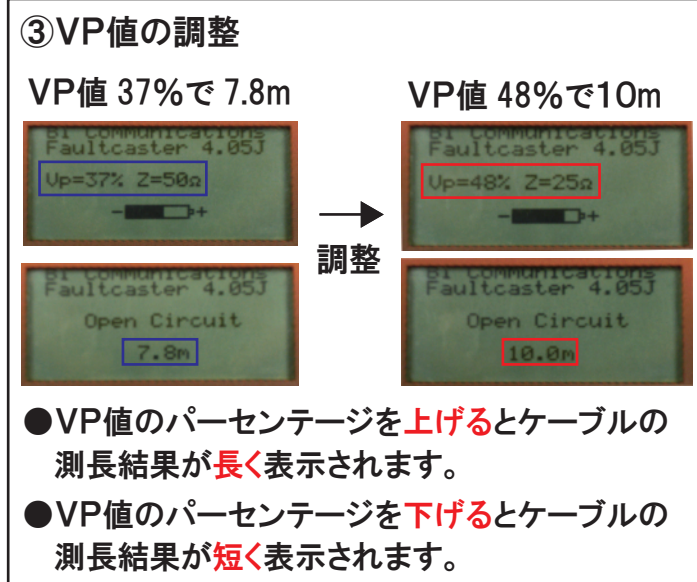


③VP値の調整

VP値 37%で 7.8m

VP値 48%で 10m

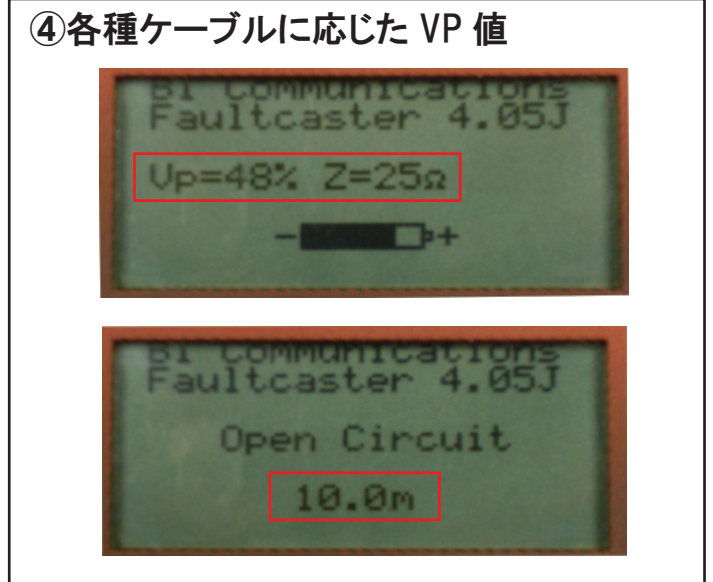
調整



●VP値のパーセンテージを上げるとケーブルの測長結果が長く表示されます。

●VP値のパーセンテージを下げるとケーブルの測長結果が短く表示されます。

④各種ケーブルに応じたVP値



BI Communications
Faultcaster 4.05J
Up=48% Z=25Ω

BI Communications
Faultcaster 4.05J
Open Circuit
10.0m